

【会計報告】

●収支表●

2014年4月1日～2015年3月31日

| | | |
|-----------------|-----------|---------------|
| 収入の部 (A) | | 3,414,893 (円) |
| 前年度繰越金 | 1,744,893 | |
| イベント会費 | 500,000 | |
| 年会費 | 173,000 | |
| 賛助金 | 997,000 | |
| 広告費 | 0 | |
| 支出の部 (B) | | 2,014,962 |
| 会議費 | 134,414 | |
| 会報等印刷費 | 194,400 | |
| 慶弔費 | 83,513 | |
| イベント補助費 | 1,437,362 | |
| 交通費 | 820 | |
| 通信事務費 | 164,453 | |
| 収支 (A-B) | 1,399,931 | |

| | |
|-------------|---------|
| 三菱東京UFJ銀行残高 | 932,241 |
|-------------|---------|

| | |
|----------|---------|
| ゆうちょ銀行残高 | 467,690 |
|----------|---------|

年会費・賛助金、ご芳名

(2014年4月～2015年3月)

| 氏名 | 金額 | 敬称略 | 金額 |
|-----|---------|-----|--------|
| 金君夫 | 200,000 | 李恢成 | 10,000 |
| 李春夫 | 110,000 | 都星学 | 10,000 |
| 徐東湖 | 105,000 | 徐富男 | 10,000 |
| 琴榮吉 | 102,000 | 康泰鎮 | 10,000 |
| 沈広燮 | 100,000 | 李宇海 | 10,000 |
| 梁直基 | 100,000 | 安昌煥 | 8,000 |
| 呉世一 | 55,000 | 金博夫 | 5,000 |
| 文一陳 | 50,000 | 崔然睦 | 5,000 |
| 安王錫 | 50,000 | 朴淳澈 | 5,000 |
| 金明煥 | 40,000 | 朴平造 | 5,000 |
| 河相淳 | 30,000 | 朴喜徳 | 5,000 |
| 金漢相 | 30,000 | 李春雄 | 5,000 |
| 權寧勲 | 30,000 | 李範洛 | 5,000 |
| 朴魯善 | 20,000 | 劉相植 | 5,000 |
| 朴安淳 | 15,000 | 趙宏濟 | 5,000 |
| 朱茂 | 12,000 | 唐朝鉉 | 5,000 |
| 金基弘 | 10,000 | 黃民愛 | 3,000 |

会費は金融機関のATMからも送金できます!!
同封の郵便振替払込用紙を使用するか、
下記口座へのお振込のどちらかをお願いします。
銀行名 ゆうちょ銀行
支店名 019(ゼロイチキョウ)
預金種目 当座預金
口座番号 0037085
口座名義 ワセダタイガウリトオモンカイ
(送金名義は会が認識できる名義をお願いします)



WASEDA ALUMNI SINCE 1885

早稲田大学ウリ稲門会

〒105-0001
東京都港区虎ノ門5-1-5
メトロシティ神谷町5階
東京神谷町総合法律事務所内
woori-tohmon@tkm-law.com
発行人：金君夫(編集：編集委員会)

第25号

INDEX

1. 2015年度総会開催
2. ウリ稲門会奨学金制度
出帆
● 金会長からのご挨拶
3. 活動レポート
● 2014年納涼会レポート
● 湘南ベルマーレ応援ツアー
● 2014年送年会
「ありがとう 明月館」
● 韓国校友会
「春期登山の集い」
4. 会計報告
5. 編集後記

2015年度総会開催・ウリ稲門会奨学金制度出帆!



2015年3月28日、桜の開花を待つ母校に隣接するリーガロイヤルホテル東京で早稲田大学ウリ稲門会総会が開催されました。最大の議案は、ウリ稲門会奨学金制度の出帆について。

一昨年、2013年納涼会の席上で金君夫会長が提案して以来、幹事会・拡大幹事会で数々の議論を重ね、現役在校生へのアンケート活動に取り組み、大学当局との幾多の折衝を積みましました。そして、2014年9月6日開催の納涼会に先立って設けられた臨時総会を経て、奨学金事業の立上げと10月より奨学事業募金の募集を開始することが決定されます。いざ募集を開始すると、募金の目標額は2週間で達成され、母校の当会奨学金募集口座には結果的に1306万円もの篤志が注ぎ込まれました。

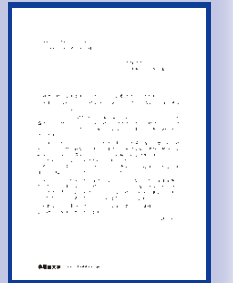
今総会では、かかる経緯を踏まえ、本年4月より奨学金制度を正式に立上げること、募集初年であることから本年のみ全学年から12名を選抜すること、恒例の納涼会で選抜された在校生に奨学生証授与式を執り行うことを満場一致で決定しました。

また、この奨学金制度が当会発展の鍵になるため、「事業」から「制度」へのスムーズな移行を鑑み、金君夫会長が新会長に再選されました。

総会終了後、母校から当会と縁も深い花尾能成理事、そして慶應の同窓会であるコリア三田会から支東實会長、母校で教鞭をとる李愛剛娥先生を来賓に迎えて懇親会に移ります。アンケート活動を通して接点を持った在日の在校生も多数出席し、招待した現役留学生と相まって若く華やかな会となりました。そこにエール交換に招いた母校現役応援団がさらなる華を添え、なおかつコリア三田会の支東實会長がいらっしやると知るや「礼節あるご挨拶」を繰り返し、昨秋のゴルフ早慶戦(当会とコリア三田会で共同開催したゴルフコンペ)で喫した敗北の溜飲を下げてまてくれました。楽しい時間が過ぎるのは早く、名残を惜しみつつ参加者全員が笑みに包まれて宴は一旦閉じました。一旦と申したのは、ほとんどの方が同ホテルのバーに場を変えた2次会に参加したからです。期待が膨らむ早春の夜となりました。



花尾能成理事



ウリ稲門会ウェブサイト ▶ <http://blog.goo.ne.jp/wasedauritoumonkai>

編集後記

連載コラムのような編集後記

青森出身の友人に誘われ、ねぶた祭り見物に行つてまいりました。毎年8月2日から曜日に関係なく6日間開催される東北最大のお祭り。最高潮を迎える6日に現地へ赴き、最終日7日の青森港ねぶた海上運行花火大会までたっぷり堪能しました。

そのほかにも、煮干くさいラーメンをすすり匂のホヤを食したり、弘前出身の現代アートのスター・奈良美智作品を観覧しに青森県立美術館に寄ったり、

名譽青森市民・棟方志功の記念館で鬼気迫る魂に鬼気迫る魂に圧倒されたり、8日からは街中を離れ、八甲田に登って酸ヶ湯温泉の霊的な湯につかったり、果ては携帯電話がつかないばかりか、部屋に電気が通っておらずランプしか灯りがない秘境・青荷温泉で、静かに緑と闇に包まれたりしました。

「プリミティブ」青森を旅してそんな言葉が口をついて出ます。素朴だけれど原始的なパワーに満ち溢れているのです。彼の地が縄文遺跡の「名産地」であることも無関係ではないのかもしれませんが。



幅9m・高さ5m・奥行き7mに及ぶねぶたが22基、曳手・お囃子・跳人等お祭り参加者が25000人程、延べで300万人を越える人出、この祭りにはありったけの生命力が注がれます。同時にそれは、過ぎ行く夏を、北国の短い夏を謳歌する最後の数夜。美のところが夜になると半袖シャツでは寒いくらいに風が冷たかった。この祭りが終わると青森市民はストープの心配を始めるそうです。旅行中にこんなことも聴きました。「ねぶたがあるから青森は6月生まれの子が多いんだよね。」まさにプリミティブ、「サマー・オブ・ラブ」。8月2日から7日までの間、青森は生命力が横溢しております。

こちらはまだまだ暑い日が続きます。お体ご自愛ください。9月19日、納涼会・奨学生証授与式でみなさまと目にかかれの日を楽しみにしております。

(編集部/朴魯善)



早稲田大学ウリ稲門会 2015年度納涼会・奨学生証授与式のご案内

記念すべき第一期奨学生を紹介し、彼らを迎え入れる会となります。
当日は、立命館大学法学部・大学院法学研究科の講師で、司法書士としても活躍されている趙慶済学兄による、『在日』と国際家族法』についてのミニセミナーもあります。
既に往復葉書でご案内の通り、下記の要領にて開催いたしますが、まだ出欠の返信はがきがお手元にございましたら、お手数ですがすぐにご投函をお願いいたします。(8月25日を過ぎていても構いません。)学兄のみなさん、会場でお会いできることを楽しみにしております。

記
於:リーガロイヤルホテル東京「サファイア」
日時:2015年9月19日 土曜日
午後6時開宴
(午後5時30分 受付開始)
会費:8000円(同伴5000円)
在校生無料
2次会は同ホテル1階のセラバーで行います。

定期総会会長挨拶



金君夫会長

本日の総会にお集まり頂きましたご来賓並びにウリ稲門会会員の皆様、アンニョンハシムニカ?諸先輩、学兄の皆様には平素よりウリ稲門会活動に心温まるご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。
私が伝統あるウリ稲門会の会長という大役をお引き受けして早いもので2年が経過しました。本日の定期総会を迎えるにあたり、2年前、身が引き締まる思いで就任挨拶をさせて頂きましたのを昨今のように思いました。皆様よくご存じのとおり私は凡庸な男ですから、大した約束事はしませんでした。色々なことはさて置き就任時の挨拶の中で一つだけ強調させて頂いたことがあります。「私たちは早稲田に学んだ在日」という共有、即ち立ち位置、視点でこの会の運営にあたるということでした。この点に関しましては、執行部及び会員の皆様のご支援、ご協力を頂きまして、ブレなく会の運営に当たられたと自負しております。

うまでもないことですが、私が本日この場で報告させて頂きたいのは、先ず、昨年9月6日の臨時総会で決議されました「ウリ稲門会奨学事業募金」が成功裏に終了し、愈々この新年度より募集開始、書類選考後の7月に候補者の面接を実施し、2015年度に限っては各学年3名、新入生を含め計12名の在校生に各40万円の無償の奨学金が授与される運びとなったことです。集まりました寄付の総額は1306万円と予定を大きく上回りました。今年度は特別に12名に供与しますが、来年度からは一年度に2名ずつ、計10年間を区切りとしております。今年、この奨学金を授与される新入生を含む在校生は、秋に予定しておりますウリ稲門会の納涼会に参加して頂き、奨学証授与式を執り行うこととなっております。今後の新会員増強、フレッシュパワー注入という意味に於いても非常に楽しみです。

このウリ稲門会奨学事業の成功は会員皆様の協力の賜物です。順不同になりますが、何はともあれ、この事業は浄財なしには成立しませんでした。金額の多寡は別として、寄付をお寄せ下さった諸先輩、諸学兄に心よりお礼申し上げます。次に、この事業に心から賛同し、熱い支援、惜しみない協力をしてくださった母校及び母校校友会の関係者の皆様に深謝申し上げます。最後に、この事業の実現に向け、会長である私を支え、多忙中、数限りない会合に集まり、議論し、入念な計画を練り、交渉し、実を結ばせた執行部の皆さんに賞賛と敬意、感謝の気持ちを、この場を借りて改めて伝えたいと思います。

この2年間の活動に関しましては、例年通り新年会・納涼会などの恒例行事で会員の親睦、交流を促進したのは言

余談ですが、ある執行部の一人は、自分の会社での仕

事よりウリ稲門会仕事量の方が多くはないかと、愚痴にもならないことをこぼしていました。会費もしっかり徴収しましたので、今日は、総会後の懇親会で、手酌でしっかり飲んで自らを慰労してください。

その他、特記すべき活動としましては、早稲田の永遠のライバル慶応と「ウリ稲門会 VS コリア三田会親善ゴルフ」と称し初の早慶戦を実施したことです。今後のことでもありますので花を持たすという勝を譲った結果となっております。このことに関しては後の質疑応答で会長の責任を問うことはないよう事前に断っておきます。

以上、かいつまんで活動の主なものに触れましたが、同窓会の集まりとは云え、ウリ稲門会にはまだまだ課題があります。一つは、韓国や日本の社会同様、同窓会組織の高齢化に伴って組織が逆ピラミッド型、もしくは、世代層によってはかなりいびつな形になってきているということです。皆様のお蔭で。奨学金の授与も始まりますので少しずつ是正の策を講じて行ければと考えております。二つ目は、組織財政の脆弱性です。同窓会は会費制にて賄っておりますが、年々集まる会費が漸減しており、この対策も講じて行かなければなりません。

更には、全国にいる会員の皆様に同窓会の情報提供をより効率的に伝えていくにはどうすべきか、どのような方法で行うのか等々も課題の一つです。こういった課題は次の執行部で順次解決に向け取り組んで頂けたらと考えます。

挨拶が少し長くなってきたようです。最後に、当然ことですが、同窓会は会員の皆様の温かい支援、協力、自主的な参加なくしては成り立ちませんが、とりわけ、会の運営にあたり長年事務所として拠点を提供して下さった沈顧問、そして新しく事務所の使用を快諾してくれました李宇海学兄に会を代表してお礼申し上げます。

心のふるさと われらが母校
集まり散じて人は変われど
仰ぐは同じき理想の光

この校歌の意味するものに加え、我が同窓会は、在日として学び青春時代を過ごしてきたという貴重な経験を共有している会員による集まりです。この伝統あるウリ稲門会の会長を諸先輩、諸学兄皆様のご協力をもちまして任期を全うできましたことを深謝し私の挨拶とさせていただきます。カムサハムニダ。

新幹事団紹介

会 長: 金君夫

副会長: 朴淳澈・崔相敦・安昌煥・康泰鎮・河相淳

幹事長: 朱茂

副幹事長: 徐富男・朴魯善

幹 事: 金明煥・金享培・湖山彰愛

監 査: 金博夫・李宇海

ソウル支部長(仮称): 金協一

顧 問: 梁直基・姜徳相・琴栄吉・李善淙・沈広燮・安王錫・文一陳・呉世一

財政委員: 梁直基・琴栄吉・沈広燮・安王錫・文一陳・金君夫・李春夫・呉世一・徐東湖・金明煥

事務所移転のお知らせ

沈広燮顧問が経営する焼肉店「明月館」を当会の事務所とさせていただいておりましたが、2014年夏に李宇海学兄が主宰する法律事務所に移転しました。

●新事務所住所: 〒105-0001 港区虎ノ門5-1-5 メトロシティ神谷町5階
東京神谷町綜合法律事務所内

●連絡先: woori-tohmon@tkm-law.com

活動レポート

● 2014年納涼会レポート

2014年9月6日、最高気温31度。まだまだ熱が残る東京。老舗ビアホール銀座ライオンの6階、1934年に創建されてから81年変わらぬ佇まいのクラシックホールで納涼会は開催されました。

歴史では当会だって負けてはいません。そして、その歴史に新たな1ページを刻もうという臨時総会が納涼会に先

立ち開催されました。巻頭に詳しく紹介しているので重複は避けませんが、このふさわしい会場でウリ稲門会奨学金制度設立が公式に宣言されました。

アトラクションにお招きした李政美さんの歌も素晴らしかった。シンプルな音のみで、澄んだ声だけで、「感想」を考へる暇もなく心に届いた、そう感じました。

2014年新年会より、若い会員の出席が顕著になっておりますが、この会も御多分にもれず。当日出席者の入学年度の開きは最大55年、名司会崔相敦副会長がリードした入学年代別自己アピールコーナーは大いに盛り上がり、校歌を歌い上げるため肩を組むのに老若の境はすっかりなくなっていました。



● 湘南ベルマーレ応援ツアー

2014年はサッカーW杯が開催された年でした。今大会は残念ながら韓国は1次リーグを突破することはできませんでしたが、6月12日から7月13日までとにかくにも巷の話題はサッカー。その余波を受けた8月24日、誰からともなく持ち上がった曹貴哉学兄率いる湘南ベルマーレ応援ツアー、事前に曹学兄に連絡した上で、意気揚々と湘南に駆けつけました。記録的なペースで2位をひた走っていたベルマーレ、対戦相手は名門ジュビロ磐田。

「平塚に早め集まって景気をつけよう」口実を見つけては親睦を深めてしまう私たちです。試合開始の2時間半も前に車で待ち合わせ、平塚に住む友人に案内してもらったレストランへ。地元の人情報は確かです。さすが湘南海のものが美味しい。採れたばかりのしらすが特に美味しい。お店の人が采れるほどにしろすびザを繰り返し注文し、白ワインを何本も空け、気がつく頃には試合開始の間に合うか怪しくなっていました。

ギリギリで間に合ったものの、すでに黄緑に埋め尽くされた場内はヒートアップ。私たちが「景気」をつけていたのですぐに追いつきます。先発メンバーの最後に監督曹貴哉がコ

ールされるやひときわ声援が高まりました。実のところ、ベルマーレサポーターの友人に聞くと、「曹監督の長期政権を望んでいる」とのこと。試合は1点先制されたものの、終盤にウェリントンの美しく弧を描いたミドルシュートで追いつき1-1の引き分け。夏の終わりの熱狂、いいゲームでした。

私たちが応援した湘南ベルマーレは、結果的に2014シーズンを31勝8分3敗、勝ち点101の記録的数字でリーグ優勝を勝ち取り、2015シーズンもJ1で旋風を起しています。また学兄の皆さんと観戦に行けるのを楽しみにしています。



● 2014年送年会・拡大幹事会レポート 「ありがとう明月館」

当会幹事会は、会長を歴任された顧問の諸学兄を交えた拡大幹事会を年の瀬に開催し、活動総括と今後への意見を交換しつつ合わせて送年会とすることで一年を締めくくります。

2014年送年会・拡大幹事会は、長年にわたり当会に事務所を提供してくださった沈慶燮顧問の貢献に対し、今一度深い感謝の意を表する会となりました。学兄それぞれが秘める明月館への想いを書き寄せた色紙を額装し、照れる沈慶燮顧問に金君夫妻会長がこやかに贈呈。話は尽きず、明月館の焼肉に舌鼓を打ち、当会の来し方に想いを馳せる特別な夜となりました。



● 韓国校友会との交流 「春期登山の集い」に参加

年末にソウルで開催される韓国校友会総会に2014年も参加しております。安昌煥副会長・河相淳副会長、そしてソウル在住の金協一学兄。例年の参加の末に、「春期登山の集い」に顔を出すまでになりましたので、今号では金協一学兄のレポートを掲載いたします。



アンニョンハセヨヒョビルです。

先日、柳宇徹君がたまたまこちらに来たので、一緒に校友会の山登りに参加してきました。当日は晴天に恵まれ、登山日和でした。

清溪山は我が家の傍にある、600m級の小山で、週末になるとソウル、京畿南部から沢山の登山客が押し寄せます。ご存知の様に、韓国は都会の周辺に小山が多く、散歩気分登山をする人が多いです。大した山ではないのですが、登山靴、登山服のフル装備姿で、スティックをもって、いかにもこれから山に登りますと言わんばかりに周囲に自己主張します。日本であればジーンズにズックで登る位の山ですが、2000m級の山に登る位の格好であると考えれ

ばよいでしょう。

これと共通するのが、サイクリングです。ソウルからその周辺の都市間には、漢江につながる支流に沿って、自転車道が整備されていますが、週末になると同好会や数人でサイクリングを楽しむバイカーで賑わいます。そのバイカーの大半が、サイクリングスーツに身を固め、ヘルメットを被って走行します。これも日本であれば、ジーンズにズックといったところではないでしょうか。

いずれにしても、韓国は外見から入門する傾向が強い様で、そうした意味では日本の方が多様性があるような気がします。

さて今回のイベントは簡単な山登りとはいえ、年配の方は不参加で、30代から50代のメンバーが中心で20名ほど集まり登ってきました。山頂でマッコリを軽く飲んで、山の麓の山菜料理の店で、昼食をしました。たまたま昼食時、座った私の席の周囲にいる会員の人は、偶然にも私が仕事で関わっている業界に携わっている方々で、お互いにすぐに溶け込むことが出来ました。

その後私達は2次会にも参加して、酒豪の会員の御馳走で楽しい時間を過ごすことができました。気付いたら既に8時過ぎになってしまい、家に着いたのが9時過ぎになってしまいました。大変 皆様から歓迎して頂き、初参加の宇徹君も楽しんで居られたようです。又、宇徹君も仕事の関係上、頻繁に韓国に来られるようなので、校友会の行事に会わせる様にして、来韓されるそうです。

Advertisement for WASEDA DAY (Waseda University Alumni Day) with details on location, date, and contact information.

